

# 近代の鳥取城

明治維新の後、1873年(明治6)の廃城令では、鳥取城は軍事的な必要性が認められ、建物の多くも陸軍の施設として再利用されました。しかし、国内の治安が安定すると、陸軍の撤退が決定し、1879年(明治12)に不要となった建物のほぼ全てが撤去されました。

城跡はその後、三ノ丸や柵蔵跡が学校用地として転用されたほか、扇御殿跡に宮廷建築の第一人者である片山東熊の設計による仁風閣(国重要文化財)が建てられました。大正時代になると、市民から要望を受けた旧藩主鳥取池田家によって久松公園が整備されました。設計は、明治神宮外苑(東京都新宿区)の設計者でもある折下吉延でした。



仁風閣



御座所(仁風閣内)



崩落した二ノ丸三階櫓台石垣(昭和34年頃)

# 現在そして未来の鳥取城

大正期以降、久松公園として親しまれた鳥取城跡ですが、1943年(昭和18)の鳥取大地震(震度6、死者1210名)によって城跡も大きな被害を受けました。

翌年、旧藩主鳥取池田家は、震災の復興に立ち向かう市民を勇気づけるため、鳥取城跡を鳥取市に寄贈します。城跡の保存の意志を引き継いだ市は、国史跡指定を契機として、石垣の修理を中心に城跡の保存と活用に取り組んでいます。2006年(平成18)には、建物復元を含めた長期的な整備計画を策定し、現在、城の正面玄関にあたる大手登城路の復元整備に取り組んでいます。



大手登城路復元整備イメージ図

## 《鳥取城年表》

時代	主な城主など	年号	出来事
戦国時代	山名誠通	16世紀中頃	この頃、久松山に但馬山名氏によって砦が築かれる。
	武田高信	1562年(永祿5)	武田高信が久松山を拠点として、因幡守護の山名氏に反逆する。
	山名豊国	1573年(天正1)	武田高信を退けた因幡守護山名豊国が、布施天神山城から鳥取城に本拠地を移転する。
		1580年(天正8)	羽柴秀吉の第1回鳥取城攻め。山名豊国、降伏するが、毛利方が鳥取城を再奪還する。
安土桃山時代	吉川経家	1581年(天正9)	羽柴秀吉の第2回鳥取城攻め。兵糧攻めの末、吉川経家の切腹で毛利方降伏する。
	宮部継潤		新たに入城した宮部継潤が鳥取城に入り、その後近世城郭に改修する。
江戸時代	宮部長房		関ヶ原合戦に伴い西軍に与した鳥取城が攻撃される。
	池田長吉・長幸	1600年(慶長5)	池田長吉が城主となる。
	池田光政	1617年(元和3)	池田光政が城主となり、鳥取城が鳥取藩32万石の居城となる。
		1619年(元和5)	この頃、城と城下町の大改修が行われ、現存する城跡の構造が整う。
	鳥取池田家	1632年(寛永9)	池田光政が城主となる(鳥取池田家の成立)。やがて鳥取城下に水道施設が整備される。
		1692年(元禄5)	天守が落雷により焼失し、以後再建されず。
		1718年(享保3)	三ノ丸の拡張が行われ、藩主(城主)の居所が二ノ丸から三ノ丸へ移る。
		1720年(享保5)	城下の大火(石黒大火)により鳥取城も延焼する。
		1721年(享保6)	三ノ丸を中心に再建が開始され、3年後に完成する。
		1728年(享保13)	石黒大火で被災した二ノ丸三階櫓石垣の修理が完了する。
		1735年(享保20)	二ノ丸の三階櫓、走櫓は再建されるが、御殿は再建されず。
		1807年(文化4)	この頃、天球丸の巻石垣が築かれる。
		1825年(文政8)	幕府より屋根瓦に葵の紋を用いることを許可される。
		1846年(弘化3)	二ノ丸の御殿、菱櫓、表御門など再建され、一時的に藩主の居所が三ノ丸から二ノ丸へ移る。
	1849年(嘉永2)	二ノ丸が西方に拡張される。	
	1858年(安政5)	三ノ丸の南側に柵蔵が建てられ、城域が拡張される。	
1861年(文久1)	三ノ丸が拡張される。		
1863年(文久3)	扇御殿、宝隆院庭園(現存)が造営される。		
1867年(慶応3)	西坂下御門(現・復元門)が創建される。		
明治政府	1871年(明治4)	廃藩置県後、兵部省の管轄となり、政庁の機能が城外に移転する。	
	1873年(明治6)	廃城令で軍事上の必要性が認められた鳥取城は、存城となり、陸軍省の所管となる。	
	1875年(明治8)	陸軍省によって不要な71棟の建物が解体撤去される。	
	1877年(明治10)	姫路歩兵隊の分遣隊派遣が決定し、三ノ丸御殿等を転用した兵舎が整備される。	
近現代	1879年(明治12)	西南戦争終結後、治安安定により分遣隊の撤退が決定。それまでの城内に残された大型建造物(二ノ丸三階櫓等)が解体撤去される。	
	1889年(明治22)	陸軍によって中学校用地として鳥取県へ無償貸与され、三ノ丸に尋常中学校が建つ。	
	1890年(明治23)	陸軍から旧藩主鳥取池田家へ城跡の払い下げがなされる。	
	1907年(明治40)	扇御殿跡に仁風閣が建つ。	
	1923年(大正12)	久松公園開設。翌年、城代屋敷跡に鳥取公設運動場(現・鳥取県立博物館敷地)開設。	
旧藩主鳥取池田家	1936年(昭和11)	久松山全山が市民に開放される。	
	1943年(昭和18)	鳥取大地震で被災する。翌年、城跡が旧藩主鳥取池田家から鳥取市へ寄贈される。	
	1957年(昭和32)	国史跡に指定される。	